

HSE リスク・シーキューブ 第8回 理事会 議事録

日時：平成 23 年 7 月 2 日（土）13 時 30 分～15 時 00 分

場所：東海村総合福祉センター「絆」 ボランティア室 3

出席：谷口，佐藤，土屋，小宮山，清水，中村

1) 平成 22 年度事業報告案および収支決算報告案について

土屋副代表理事より、通常総会で報告する平成 22 年度事業報告案と平成 22 年度収支決算書案が紹介され、質疑応答の後、総会へかけることが承認された。

佐藤：認定 NPO の範囲を拡大する話がある。認定されれば税負担が小さくなるのではないかと。認定は難しいのか？

谷口：以前調査したが、その時はかなりハードルが高く、日本全体でも 10 団体に満たない状況だった。認定を受けるための手続きはかなり煩雑。

佐藤：公民館講座の講師謝金の支出はないのか？

土屋：公民館講座の謝金は村から講師に直接支払われている。

2) 平成 23 年度計画と予算案について

土屋副代表理事より、平成 23 年度活動計画と予算案が紹介され、議論の後、総会議案とすることが承認された。

土屋：東海村との事前打ち合わせでは、23 年度も住民原子力懇談会は実施したいとのことだったので、例年どおり計上した。中央公民館は現在、使用できないが、下期には使えるようになるとの話があり、連続講座は無理でも、何回かは企画できるかもしれない。

清水：シーキューブのホームページは、例えば原子力機構からリンクがはられていたりするのか？

土屋：いまはリンクされていない。先方からのリンクは、先方のお考えによるものなので、むしろ検索キーワードを改善することが必要だと考えている。

3) その他

小宮山：今回の理事選挙で、別のメンバーになってほしいと思って投票した。新しい情報をもつ人が関わって活動内容を新しくしていくことが必要ではないか。

谷口：現在の投票方式ではいつまでもメンバーが変わらない。やはり理事も適宜交替することが必要。すでに 7 年ほぼ同じメンバーであるので、多選を排していくことが必要ではないか。

他方、活動の継続性も重要であり、半数ずつ改選するということもあるだろう。選挙でも、今後 NPO の活動をどうしていきたいかという方針を表明して投票してもらおうということもある。定款の見直しもあるので、今ここで変更することは難しいが、総会で会員から意見を聞きたいと思う。

※総会で、理事改選方法の意見をたずねることになった。